



21世紀を生きる甘楽町民のみなさんへ

## タイムカプセルを埋設



▲町長、議長の手によって埋設、開設は70年後

今日、平成元年十一月十六日、二十一世紀を生きる甘楽町のみなさん宛に、現在を生きる甘楽町民から貴重なメッセージを贈ります。校場前庭に建てられた町制施行三十周年モニュメント「清澄のバラ」後の台石の中にタイムカプセルが埋設されました。

昭和三十四年二月一日甘楽町が誕生して以来三十周年。その伝統の歩みは、多くの先人たちの手によって育てられてきました。それら資料や、みなさんから寄せられたハガキ、大豆、ネギ、キジ、ソバなどの種子、町内の風景写真、町史、町勢要覧、町図、三十四年記念事業資料など十四種類八百六十一点を納めました。今から七十年後、二十年後保存状況を確認のため開封・過ぎし日の甘楽町の姿を想像しながら、どんな思いで開かれるのでしょうか。時代は変わっても、今の自然と甘楽町に生きる誇りは変わらず、活気に満ちた、よりすばらしい甘楽町があることは間違いないでしょう。

タイムカプセルに埋設された、町長からの二十一世紀に生きる町民のみなさんへ

### タイムカプセルメッセージ

へのメッセージを原文のまま紹介します。

親愛なる二十一世紀の甘楽町の皆さんへ心から二挨拶を申しあげます。南山から稲倉山の横断は昔も今も変わらぬ豊かな緑におおわれています。平成元年は、平年より雨量が多く、残暑も厳しい年でしたが、心配された台風も被害はほとんどなく豊年でありました。

満って、昭和三十四年二月一日、町村合併促進法により、同一町系に属し、歴史的にも民俗的にも苦難な関係にあった、旧秋畑村と小幡町、福島町、新屋村が合併し、甘楽町が誕生しました。

高時は、第二次世界大戦後の荒廃からようやく脱却し、国民は世界の一角としての自信と誇りを取りもどそうとする時代でした。

それから三十年後の平成元年十月十四日、甘楽町発足三十周年記念式典が、甘楽町立第二中学校体育館において、先人の偉業を後び、稲倉山、国務会議議員、隣接市町村長をはじめ、町内外多数の来賓を迎え、盛大に挙行されました。

翌十五日は、総合公園広場において、お祭りや、町民参加のもと、終日華やかにくり広げられました。本年、昭和六十四年一月七日、病氣静養中の昭和天皇が崩御せられ、翌日、元号が「平成」と改められたのであります。

このところ日本経済は、空前の好景気に生まれ、世界第二位の経済大国といわれ、世界最大の債権国となり、アメリカを追い抜く勢いがあります。